

## 平成 30 年度 大学技術士会連絡協議会総会 報告

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 10 日 (土) 14:30~19:00
2. 場 所 : 日本大学駿河台タワー・スコラ 504, 506、教室、602 会議室
3. 参加者 : 26 大学技術士会、3 大学技術士会オブ参加、計 29 大学、67 名  
(欠席 4 大学) 慶応技術士会、東京農工大、室蘭工業大、摂南大

### 総会次第

1. 開会あいさつ: 桜門技術士会 会長 成島 誠一 氏
2. 大学への「技術者倫理」の講義支援活動報告
  - 1) 中央大学技術士会 坂林 和重 氏
  - 2) 千葉工業大学技術士会 堀田 光 氏
  - 3) 柏門技術士会 松浦 弦三郎 氏
  - 4) 桜門技術士会 姥原 巖 氏
3. 総会関連連絡事項 大技連事務局 笹口 裕昭 氏 (技術士稲門会)
  - 1) 技術士総会参加者 29 大学、67 名の発表
  - 2) 大学技術士会連絡協議会の連絡者リスト (別紙)  
会員 30 大学技術士会及び新規参加 3 大学 (青山、横浜国立、東大)
  - 3) 平成 31 年度大技連幹事校  
早稲田大学、東京都市大学、東京理科大学、中央大学、工学院大学  
名古屋工業大学\*、京都大学\*、東京電機大学\* (\*印 3 校は新規) で  
東京工業大学、日本大学、千葉工業大学の 3 校と幹事交代となる。
  - 4) 29 年度技術士第 1 次試験大学別合格者の発表 (別紙)
  - 5) 大学技術士会連絡協議会運営規則の説明 (別紙)
4. 大技連メーリングリストについて (京都大学技術士会 佐竹 孝 氏)  
各大学技術士会の登録アドレスから  
daigiren@ku-pe.net へ発信すると登録アドレス全員にメールが配信される。  
運用体制は、京都大学の有志により運営されている。
5. I P D(initial professional development)について: 奥田 榮司 氏  
(東京電機大学技術士会)  
日本技術士会登録グループの I P D 研究会での活動報告として I P D の普  
及を図る、また初期技術者教育実施の仕組みを明確にする等の説明がされた。



開会あいさつ: 成島 誠一氏



関連事項説明: 笹口 裕昭



大技連総会風景



大技連総会参加者集合写真

6. 記念公演：「人力で空を飛ぶ技術と視点」

講演者：日本大学理工学部非常勤講師 安部 建一 先生

鳥になりたい男たち～人力飛行機にかかる青春～はじめとして  
人力飛行機開発の歴史や鳥人間コンテストの記録更新への努力  
等航空力学などの解説も交えて講義された。



日大では、2003年に琵琶湖鳥人間コンテストで、34,654mの飛行記録を達成した。

FAI（国際航空連盟）の規定では自力で滑走し、離陸する。離陸場所からの高低差は1/100以内、離陸力着地までの高低差1/200以内とあるので、琵琶湖の記録は日本記録とはならないとの事でした。

6. 懇親会：会場を602会議室に代えて会員63名参加での懇親会が開催された。



30年度総会を締めくくり乾杯



清野茂次 元日本技術士会  
会長の挨拶を聴く参加者

清野 茂次 元日本技術士会長の挨拶の後、大技連事務局の笹口裕昭氏より、平成 31 年度に交代して新規幹事となる 3 校技術士会の紹介がされた。

こそぎ技術士会（名古屋工業大学）	挨拶	副会長	石田 佳子 氏
京都大学技術士会	挨拶	幹事	嶋田 弘僧 氏
東京電機大学技術士会	挨拶	会長	石塚 昌昭 氏



大技連幹事校の挨拶をされた  
石塚 昌昭会長



和やかな懇親会風景

会員 63 名のそれぞれの方々が楽しく懇親交流の場を持ち、また来年度の大技連総会での再会を確約して大阪銀杏技術士会 藤田 稔 会長の閉会挨拶をもって散会となった。

以上

事業委員会 大館(記)